

【保護者配布用】

令和3年度学校評価計画

学校名	佐賀県立大和特別支援学校
1 前年度 評価結果の概要	<p>前年度は11項目中A評価が3項目、B評価が3項目、C評価が5項目で評価項目によって差が見られた。Cの評価項目について改善を図っていく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育目標に即した教育の実践」「いじめの早期発見、早期対応体制の充実」「業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減」については大きく改善した。働き方改革については引き続き改善を図っていく必要がある。 ・「児童生徒、保護者のニーズに応じた進路指導の充実」「特別支援教育に係る専門性の向上」「新学習指導要領に対応した学習活動の充実」「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」「効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実」について目標の成果に達することができなかった。
2 学校教育目標	<p>「たくましく自立し、積極的に社会に参加する人間の育成」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人のニーズに応じた最適な対応に努めることにより、子どもが自分の力を発揮しながら自立的・主体的に取り組む姿を実現し、将来的・主体的な地域生活へつなげていく。
3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> ① 新学習指導要領に対応した授業づくりと授業改善を図る。 ② カリキュラムマネジメントを推進し、教育課程を検討する。 ③ 職員の意識改革や学校の業務改善等を行い、働き方改革を推進する。

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
重点取組			
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標) ※数値目標の数値は、4段階評価	具体的取組
●学力の向上	●児童生徒一人一人のニーズに応じた指導・支援による確かな学力の定着	○「子どもに応じた適切な授業が行われている」と回答した保護者の平均が3.2以上 ○「個別の指導計画」の作成において、評価の観点一覧表(評価規準)に照らして、学習評価に取り組んだ」と回答した教職員の平均が3.2以上	・個別の指導計画の評価規準をもとに授業を計画して、PDCAサイクルで取り組む。 ・授業の内容を学習計画表や連絡帳で保護者に伝える。 ・3観点による学習評価の充実を図るため、学年やクラスで読み合わせの期間を設定する。
	○新学習指導要領に対応した学習活動の充実	○「育成すべき資質能力の3つの柱である「知識及び技能」「思考・判断・表現等」「学びに向かう力、人間性」に沿って授業づくりに取り組んだ」と回答した教職員の平均が3.0以上	・評価の観点一覧表を活用し、後期の授業づくりに取り組む。 ・小学部は学年別グループ・中学部・高等部は教科別グループに分かれ、教職員間でアイデアを出し合いながら、単元の指導路案を作成する。
	○児童生徒、保護者のニーズに応じた進路指導の充実と社会生活を送るための力をつける教育の推進	○「ニーズに応じた進路情報を提供している」と回答した保護者の平均が3.4以上 ○「社会生活に必要な力をつけるための教育に努めている」と回答した教職員の平均が3.1以上	・学部別に保護者への進路講話や進路だよりなどの情報提供のための資料の充実を図る。 ・キャリアパスポートの活用状況を確認し、担当職員でフィードバックする場を設ける。
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「心の教育活動や生命を尊重する活動など道徳性を高める教育に取り組むことができた」と答えた教職員の平均が3.0以上	・人権に関する研修を年1回以上実施する。 ・「特別の教科 道徳」に関する研修資料を配布する。
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「年2回以上のアンケートで、いじめの早期発見や未然防止に努めている」と回答した保護者の平均が3.1以上 ○「生徒観察や情報共有を丁寧にし、いじめの認知や認知を迅速に行い、組織的に対応できている」と回答した教職員の平均が3.0以上	・「いじめ」についての研修を年1回以上行い、職員の意識改革を図る。 ・学年会や学部会等で生徒の情報交換を積極的に行い、職員間で未然にトラブルを防ぐ手立て等の共通理解を図る。
	◎児童生徒が夢や希望をもち、将来の自立と社会参加に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	○「児童生徒の希望や状況に応じたキャリア教育及び職業教育ができていく」と回答した保護者の平均が3.2以上 ○「キャリアパスポートを活用して授業を実施した」と回答した教職員の平均が3.2以上	・児童生徒自身が入学から卒業までの学習を見直し、振り返るとともに、将来への展望を図るキャリアパスポートの活用を全学年で取り組む。
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	●「健康に食事は大切である」と考える児童生徒3.2以上	・特別活動、保健体育などの授業や給食指導等における食に関する指導支援の充実を図る。 ・給食だより、保健だより、学年だより等で保護者への啓発を行う。 ・健康診断結果をもとにハイリスクの児童生徒には個に応じた食に関する保健指導を行う。 ・児童生徒へのアンケートを実施する。
	○感染症の予防対策の徹底	○「新型コロナウイルスやインフルエンザ等の感染症予防について、児童生徒への指導支援に努めた」と回答した職員の平均が3.0以上	・感染症予防の対策について、児童生徒、職員に周知を図る。 ・家庭と連携し、児童生徒の健康状態の把握に努める。 ・日常生活や特別活動、保健体育などの授業において、感染症予防の指導支援に努める。 ・保健だより、学年だより等で保護者への啓発を行う。
●地域支援	●効果的な地域支援に向けた特別支援学校のセンター的機能の充実	○「支援部だよりが役に立った」と回答した地域の学校の平均が3.2以上 ○「支援部だよりに掲載する教材教具などの資料を提供して、地域支援に貢献した」と回答した職員の平均が3.2以上	・支援部だよりを学期に一度発行し、3回目にアンケートを行う。 ・各クラスから、年に1回程度、支援部だよりに掲載する資料を提供してもらう計画し、依頼する。
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○「時間外自発時間の1月の平均時間を45時間以内に抑えた」と回答した職員の平均が3.3以上	・定時退勤日の厳守 ・17時以降の会議や打ち合わせの禁止 ・会議の終了時間を設定 ・週末の年休取得の推進 ・行事の精選
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
重点取組			
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組
○学校経営方針	○教育目標に即した教育の実践	○「本校に入学させてよかった」と回答した保護者の平均が3.5以上	・子どもや保護者の気持ちを受け止めて、子どもが今日の学び・学校生活に満足し、明日の学び・学校生活を期待する授業づくりを行う。
○教職員の専門性の向上	○カリキュラムマネジメントによる教育課程の推進	○「個々の子どもの学びを考えて授業を計画した」と答えた職員の平均が3.0以上	・カリキュラム委員会を充実し、小中高が一貫した学びにつながる教育課程の編成に努める。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育